

## 新幹線車内業務見直しは撤回せよ！ 休日出勤は新幹線4～5泊、在来線1～2泊 「平成29年度要員計画について」業務委員会

本部は4月13日、「平成29年度要員計画について」業務委員会を開催しました（詳細は『業務速報No.1038』参照）。

今年度の要員計画の最大の特徴は、新幹線車内業務見直しによる要員が200名削減されること、そして休日出勤は、新幹線乗務員で4～5泊程度、在来線乗務員で1～2泊程度となることです。200名の5運輸所における割り振りの数字は明らかにしませんでした。

新幹線乗務員の休日出勤が増える要因は、①想定よりも列車本数が増加すること、②乗り組み基準の見直し、JRCP（JR東海パッセンジャーズ）への出向、③養成ロス（乗務員になれなかった社員がいること）や不祥事などにより現在員が想定数より下回ったこと、と会社は説明しました。

本部は、新幹線車内業務見直しによる要員削減の撤回と、4～5泊の休日出勤の解消を強く求めました。そして、年休失効問題についても、年休を17日失効する社員がいる現実を突き付け、会社に改善を求めました。

今業務委員会においても、本部は要員不足を問題にしましたが、会社は適正な要員は配置しているとの主張は相変わらずでした。会社は、新幹線車内業務見直しが貫徹した暁には休日出勤が大幅に削減できることを主張しましたが、本部は現在の乗り組み基準において要員を確保するべきと主張し、意見は対立しました。